

## 第 4 章 地域保健福祉の推進

## 第 1 節 健康危機管理

### 1 健康危機管理に関する研修会・連絡会

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加 人数
平成 26 年 12 月 10 日 (水) 10:00~11:00 石川中央保健福祉センター	<b>【健康危機管理研修会】</b> ・「高病原性鳥インフルエンザ発生時の健康対策班マニュアル」について 講師 石川中央保健福祉センター 職員 ・「口蹄疫発生時の健康対策班マニュアル」について 講師 石川中央保健福祉センター 職員	市町 保健所 職員	17 人
平成 27 年 1 月 15 日 (木) 13:30~15:00 石川県庁	<b>【災害時医療関係機関連絡会】</b> ・「石川県災害時医療救護対応マニュアル」について 講師 石川県健康福祉部医療対策課 職員 ・各機関の役割や連絡体制等の意見交換	災害拠点病院 救急告示病院 郡市医師会 消防本部 市町 県庁担当課 職員	39 人
平成 27 年 3 月 23 日 (月) 10:00~11:00 石川中央保健福祉センター	<b>【健康危機管理研修会】</b> ・「災害時の保健所対応マニュアル」について 講師 石川中央保健福祉センター 職員	保健所 職員	14 人

## 第2節 関係機関との連携

### 1 地域保健・医療・福祉連携対策連絡会

会議名	実施日 開催場所	参集者	出席 人数	目的	会議内容
石川中央医療圏保健医療計画推進協議会	9月9日(火) 県庁	医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、食生活改善推進協議会、女性団体、市町、消防署	18	地域保健・医療の基本的指針の策定及び充実強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6次石川県医療計画の進捗状況について</li> <li>・平成26年度糖尿病対策について</li> <li>・平成26年度在宅医療対策について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
がん検診担当者連絡会	10月15日(水) 県庁	市町	7	がん検診の受診率向上及び精度管理向上に向けた課題や施策について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の実施状況</li> <li>・意見交換</li> <li>受診率の向上</li> <li>検診精度の向上</li> </ul>
石川中央医療圏地域・職域連携推進連絡会	11月28日(金) 県庁	医師会、保険者協議会、県担当課、市町	8	特定健診・特定保健指導の円滑な実施と生活習慣病の発症予防及び重症化予防が効果的に実施できるよう、関係機関の相互の連携を図り、課題や方策を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診・特定保健指導の実施状況について</li> <li>・生活習慣病予防対策等について</li> <li>・意見交換</li> <li>「生活習慣病予防対策の効果的な推進体制について」</li> </ul>
保健所運営協議会	12月5日(金) 県庁	医師会、歯科医師会、薬剤師会、福祉関係、利用者、市町	10	地域保健及び保健所の運営に関する事項を審議する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川中央保健所の事業概要について</li> <li>・食品表示法について</li> <li>・レジオネラ対策について</li> <li>・感染症対策について</li> <li>・その他</li> </ul>
介護保険施設連絡会	12月22日(月) 県庁	管内の介護老人福祉施設、介護老人保健施設、市町	19	健康危機管理における施設の体制整備を更に推進するため、現状や課題を整理し、具体的な対応策を考え、実践できるための方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設における災害対策について</li> <li>・講話</li> <li>「高齢者施設における防災計画作成指針等について」</li> </ul>
歯の健康づくり推進地域会議	3月10日(火) 県庁	歯科医師会、市町	11	高齢期における歯科保健対策の推進について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート報告…グループホームにおける歯科保健対策について</li> <li>・情報交換</li> <li>・意見交換</li> </ul>

## 2 糖尿病重症化予防ネットワーク事業

石川県第6次医療計画は平成25年度から開始し、糖尿病医療については、保健と医療が一体的に対策を推進することを目指して郡市医師会単位で取組むこととなった。糖尿病患者の早期発見・早期治療や重症化予防のための診療連携体制の構築を図ることを目的としている。

	白山野々市地区糖尿病重症化予防ネットワーク協議会	河北地区糖尿病発症・重症化予防ネットワーク協議会
委員	公立松任石川中央病院 公立つるぎ病院 医師会 眼科医会 歯科医師会 薬剤師会 行政（白山市・野々市市） 保健福祉センター	金沢医科大学病院 河北中央病院 医師会 眼科医会 歯科医師会 薬剤師会 職域（金沢医科大学、PFU） 行政（かほく市・津幡町・内灘町） 保健福祉センター
事務局	公立松任石川中央病院	金沢医科大学病院
第1回協議会準備会	H26.6.2	—
第1回協議会	H26.6.30	H26.7.1
第2回協議会	H26.10.27	H27.3.9
第3回協議会	H27.3.20	—
協議会主催・共催の研修会等（当センター参加分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白山市主催特定健診等説明会（H26.5.21）</li> <li>・野々市市主催特定健診等説明会（H26.6.18）・・・協議会共催</li> <li>・医師会主催学術講演会（H26.9.24）・・・協議会共催</li> <li>・つるぎ病院主催市民向け生活習慣病予防セミナー（H26.11.22）・・・協議会共催</li> <li>・協議会主催研修会（H27.3.4）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かほく市市主催特定健診等説明会（H26.6.5）・・・協議会共催</li> <li>・津幡町主催特定健診等説明会（H26.5.19）・・・協議会共催</li> <li>・内灘町主催特定健診等説明会（H26.5.16）・・・協議会共催</li> <li>・糖尿病予防フェア（H26.11.30）</li> <li>・糖尿病を知ろう勉強会（H26.12.7）</li> <li>・河北・内灘・栗崎糖尿病を考える会（H27.3.12）</li> </ul>
関係機関への事業説明及び事業検討	1回（つるぎ病院）	7回（津幡町スタッフと津幡町内の医療機関へ）
事務局等との事業検討 ・協議会活動 ・保健と医療の連携体制	10回（事務局及び代表との検討）	1回（副代表との事業検討） 8回（金沢医科大学病院准教授との事業検討）
市町へ出向き事業検討	1回（白山市健康増進課） 1回（野々市市成人検討会）	3回（河北郡市衛生部会等） 2回（津幡町こども健康課）
糖尿病対策成果発表会	H27.3.29	
計	23回	30回

※ 当センターが白山野々市地区の現状把握のためのアンケート調査を担当、栄養指導体制構築は協力。

※ 協議会補助金申請書（申請・変更・実績）や協議会資料作成に関して、各事務局と電話・メールで相談に対応。

### 3 市町支援

#### (1) 活動方針

- ア 市町（関係機関）からの要望に応じて支援を実施する。
- イ 管内の状況を把握し、保健所が介入した方がよいと判断した支援等を実施する。

#### (2) 基本的な視点

- ア 社会情勢の変化により必要となる体制整備が円滑に推進されるよう支援する。
- イ より効果的、効率的に保健事業を推進するために、職員の資質の向上ができるよう支援する。

#### (3) 市町支援の重点課題

- ア 母子保健
  - ・多胎妊産婦・育児支援教室の実施（広域）
  - ・ハイリスク妊産婦の保健医療連携への支援
- イ 特定健診・特定保健指導
  - ・効果的な特定健診・特定保健指導実施体制の充実
  - ・第2期特定健診等実施計画に基づいた計画的な実施
  - ・受診率の向上、効果的な保健指導の更なる推進
  - ・糖尿病重症化予防ネットワーク事業への支援
- ウ 健康増進・地区組織育成・健康づくり計画
  - ・食育の推進
  - ・がん検診受診率向上対策の推進
  - ・健康増進計画（第2次）策定への支援
  - ・健康増進計画に基づいた事業実施への支援
- エ 障害保健福祉
  - ・在宅精神障害者や家族からの相談への支援
  - ・自殺対策の推進
  - ・自立支援協議会への支援
- オ 感染症対策・予防接種
  - ・感染症発生時に適切な対応ができるよう体制整備
  - ・予防接種事業の評価
  - ・地域密着型高齢者施設への巡回指導
  - ・市町新型インフルエンザ等対策行動計画策定への支援
- カ 高齢者に関すること
  - ・地域の実情に応じた介護予防体制の整備
  - ・改定された高齢者施設における防災計画作成指針に基づく防災関係の体制整備
- キ 健康危機管理
  - ・災害時における健康危機管理体制の整備・充実

(4) 市町と保健福祉センターとの事業検討会

(平成26年度)

市町名	実施日時・会場	出席者	内容
かほく市	平成26年5月19日(月) 15:00~16:30 かほく市宇ノ気保健福祉センター	市町: 保健福祉担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度市町支援結果について</li> <li>平成26年度における市町事業の課題、保健所への支援要望等について</li> <li>意見交換</li> </ul>
白山市	平成26年5月14日(水) 9:00~15:00 健康センター松任	保健福祉センター: 企画調整課長 健康推進課長 健康推進課主幹 企画調整課担当者	
野々市町	平成26年5月20日(火) 9:00~11:00 野々市町保健センター		
津幡町	平成26年5月22日(木) 9:00~12:00 津幡町役場		
内灘町	平成26年5月19日(月) 13:00~14:30 内灘町役場		

(5) 市町支援実績

(平成26年度)

		策定・保健計画の地区診断	母子保健	健康増進	生活介護支援	歯科保健	感染症	精神保健福祉	難病	介護保険	健康危機管理	その他	計
研修会	回数		5	2			2	2			3	4	18
	参加人数		13	33			4	16			27	17	110
連絡会議	回数	15	115	68	12	2	3	43		20		7	285
	参加人数	105	741	475	79	10	12	164		163		46	1795
情報提供	回数	5	38	80	7	1	28	8	0	3	3	23	196

## 第3節 学会発表

### 1 石川県小児保健学会（第25回）

開催日：平成26年10月5日

開催地：石川県

発表方法：口頭発表

#### 「赤ちゃんへの気持ち質問票」の活用について

○寺尾 知子、四方 雅代、竹本玲湖、伊川あけみ（石川県石川中央保健福祉センター）

##### 【はじめに】

近年、母親の育児不安の増大や、深刻な児童虐待の増加が大きな問題となっている。母親が児との良好な愛着関係を築き、安心して育児を行うために、保健福祉センターでは市町や医療機関との連携のもと、母親の育児状況を早期にとらえて支援を行っている。当センターでの訪問指導の際には、母親に対するサポートを含めた育児環境の評価となる「育児支援チェックリスト」、抑うつ感や不安の評価となる「エジンバラ産後うつ病質問票（以下 EPDS）」、育児負担や赤ちゃんへの気持ちの評価となる「赤ちゃんへの気持ち質問票（通称：Bonding）」の3つの質問票を母親に記載してもらい、多方面からの支援に取り組んでいる。

そこで今回、当センターが実施した訪問事例について、3つの質問票の内容について集計し、特に「赤ちゃんへの気持ち質問票」を活用した今後の支援について検討を行ったので報告する。

##### 【対象】

平成24年度に当センターで把握した、母親側や児側にリスク要因があるハイリスク妊産婦は292件あった。その中で当センターが訪問を実施した産婦56人（実人数）のうち、今回は3つの質問票の回答が得られた37人（実人数）を対象とした。37人の内訳は、母親側にリスク要因（精神疾患や若年等）がある母親22人、児側にリスク要因（未熟児、双胎等）がある母親22人で、7人はリスク要因が母親と児で重複していた。

##### 【方法】

当センターにおける訪問指導の際に活用している3つの質問票を用いて把握した内容について集計、分析した。

「育児支援チェックリスト」は11項目で構成され、「はい・いいえ」の選択回答となっている。

「EPDS」は10項目の質問で構成され、各質問項目は0点から3点の4段階で評価した。合計9点以上であれば産後うつ病疑いと判断される。

「赤ちゃんへの気持ち質問票」は10項目で構成、0～3点の4段階で評価。今回は5点以上を高得点者とした。

##### 【結果】

「赤ちゃんへの気持ち質問票」では、5点以上が10人（27.0%）で、最高点は7点、平均点は2.4点（SD±2.2）であった。高得点者10人を要因別にみると、10人中9人（90.0%）が母親側にリスク要因があった。「EPDS」では、9点以上が8人（21.6%）で、最高点は21点、平均点は7.1点（SD±5.7）であった。「育児支援チェックリスト」では、全体の94.6%にあたる35人が何らかの問題を感じており、経済的不安を感じる母親が37人中17人（45.9%）と最も多かった。

「赤ちゃんへの気持ち質問票」と「EPDS」との関連をみると、「EPDS」高値である母親は、「赤ちゃんへの気持ち質問票」においても得点が高い傾向が見られた。また、「EPDS」は8点以下であるが「赤ちゃんの気持ち質問票」が5点以上である母親は5人（13.5%）いた。

さらに、「赤ちゃんへの気持ち質問票」での高得点者について「育児支援チェックリスト」の回答をみると、「実母に相談できない」という項目で有意な差がみられた。その他、「夫や実母以外に相談できる人がいない」、「経済的不安がある」、「環境に不満」、「泣きの理由が分からない」、「児を叩きたくなる」という項目で4点以下の母親に比べて割合が高い傾向があった。

##### 【考察】

「赤ちゃんへの気持ち質問票」では児に対する母親の気持ちを把握でき、「EPDS」や「育児支援チェックリスト」の同時活用で、児との愛着形成において支障となる原因を探ることができる。今回、産後うつ傾向の母親は児に対して否定的な感情を持ちやすいことが示唆されたが、「赤ちゃんへの気持ち質問票」では「EPDS」がそれほど高くない母親でも点数として表れる場合があり、児童虐待のリスク評価にもつながる。そのため「赤ちゃんへの気持ち質問票」高得点者の育児環境や背景についても丁寧に把握し母親に寄り添った支援が必要と考える。

今後は、フォローアップとして状況が改善しているかどうかの確認や、ハイリスク以外のケースとの比較についても検討したい。





(3) 介護保険市町事務支援実施状況

(平成 26 年度)

実施日時	目 的	内 容
津幡町：実地指導 平成 26 年 11 月 4 日（火） 9:30～12:00  かほく市・白山市：書面審査	市町における介護保険事業計画の適正な運営及び介護保険財政の健全化推進のため、保険者事務に関する事項について周知するとともに技術的助言を行う。	・体制整備に関すること ・要介護認定事務 ・介護認定審査会の運営状況 ・地域支援事業実施状況 ・保健福祉事業実施状況  等

## 第5節 研修・学生指導

### 1 地域保健従事者への研修

(平成26年度)

項目	日時・会場	対象	研修内容	参加者数
災害時の健康管理活動について	平成26年8月22日(金) 14:00～16:00 県庁	地域の保健福祉関係者	・講演及びグループワーク 「災害時における市町の役割と連携のあり方」 講師及び助言者： 愛知県南知多町 主幹 兼 地域包括支援係長 保健師 伊藤 恵子 氏	20人
災害時の地域の要援護者対策について	平成26年12月22日(月) 14:45～16:30 県庁	地域の保健福祉関係者	・講演及び意見交換 「災害時における福祉避難所の必要性を考える」 講師： 輪島市健康推進課 長寿支援室 河崎 国幸 氏	22人
公衆衛生看護と統計・統計学	平成27年2月23日(月) 13:30～16:00 県庁	地域の保健福祉関係者	・講演及び演習 「統計・統計学の基本と地区診断への応用」 講師及び助言者： 武庫川女子大学 食物栄養学科 教授 林 宏一 氏	8人

※平成24年度より、県健康推進課で一括して石川県内の実務経験3年未満の保健師を対象とした「新任保健師研修会」を体系的に実施することとなり、平成23年度まで当センター主催で開催していた「新任者研修会」「新任者フォローアップ研修会」は終了。

### 2 医師臨床研修

平成16年度から医師に対する2年間の臨床研修が必須化(医師法等の一部改正)し「地域保健・医療」研修の一環として保健所における研修を実施している。

(平成26年度)

病院名	研修医数	研修期間
—	—	—

### 3 学生実習指導等

(平成26年度)

学校名	学生数	実習期間
県立看護大学	44人	平成26年5月～6月 (2日間×2回)
金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻	7人	平成26年7月 (2日間)
金沢医科大学看護学部	29人	平成26年4月 平成26年6月 (0.5日間) (1.5日間)
県立総合看護専門学校第三看護学科	25人	平成26年9月 (0.5日間)
仁愛大学	2人	平成26年9月 (5日間)
神戸女子大学	2人	
東海学園大学	1人	

